

浦

URAWA

和



浦和区の花 ニチニチソウ

5 2014
月号浦和区役所
浦和区常盤6丁目4番4号☎ 825・1111 (代表)
☎ 829・6233

文教のまち うらわを歩こう

文化の小径

前地・岸町界隈を歩く

このコーナーでは、「浦和区文化の小径マップ」に掲載されている浦和区のみどころを、シリーズで紹介しています。



神明社と福だるまの石像 (浦和区岸町2丁目)



浦和区文化の小径マップは、浦和区コミュニティ課で配布しています



起志乃天神社 (浦和区岸町5丁目)

岸町緑道から起志乃天神社まで

浦和第一女子高等学校正門の東側の信号から南に進み、馬場先通りを越えればまもなく岸町緑道である。この遊歩道を西に向かって進み、突き当たりを左に折れて高台を見上げれば、永仁6年(1298年)、藤原朝臣忠勝の建造とされる神明社が、新緑の木立の中に現れる。社殿の手前には福だるまの石像が建てられ、正月には縁起物の福だるまが参拜者に配られるという。

神明社境内の鳥居をくぐり、参道を直進して突き当たりを右に折れ、住宅街を西方向にたどれば旧中山道に出る。右前方に見えるのは「関元屋」、大正の香り漂う木造建築の商店である。商店南側の道に入って右左折を繰り返し、岸町公民館南側の道を西に進めば起志乃天神社にたどり着く。由緒書から、永仁6年、藤原朝臣忠勝が北野天満宮から勸請(分霊)したことが読み取れる。